

形名 **PN-Y556 PN-Y496 PN-Y436 PN-Y326**
PN-Y326A

コンテンツ
再生まで
ご案内

コンテンツ自動再生 かんたんガイド

本書では本機にコンテンツの入ったUSBメモリー/SDカードを接続し、ディスプレイの電源を入れてコンテンツを表示させるまでの操作をご紹介します。

Menu

1. 準備するもの
2. コンテンツの諸条件
3. 電源ONでコンテンツを表示してみよう
4. スケジュール設定でディスプレイの電源ON/OFF時間を変えてみよう。
5. 静止画コンテンツの表示時間を変えてみよう
6. 困ったときは？
 - スケジュールで再生できない
 - 縦表示できない
 - Slideshow Transitionが反映されない
 - その他注意事項
7. 本ガイドについてのご注意



はじめに

コンテンツを表示するまでの流れ



素材の準備 (静止画、動画)



USBメモリーに保存

電源ONで
表示する場合

タイマーで
表示する場合

ディスプレイの設定

ディスプレイの設定

設置方向設定 (縦・横)
自動再生設定 (フォト・ムービー)

日時・時刻設定
スケジュール設定

ディスプレイに表示してみよう

本書に関するご注意事項

- 本書では、特に断りのない限り、横長で使用する場合で説明しています。
また、ディスプレイを縦長設置でご利用の場合は本体設定メニューの[温度センサー設定]を「縦」に設定してください。
- 縦長設置の場合でもメニュー画面の向きは変わりません。
- ディスプレイの各種名称や本書に記載以外の操作方法については取扱説明書をご覧ください。

1. 準備するもの

1. USBメモリー 又は SDカード ※
 - ・ USBメモリー：ファイルシステムはFAT32
 - ・ SDカード/SDHCカード：ファイルシステムはFAT32
 - ※ 容量：最大32GB
 - ※ セキュリティ付きUSBメモリー/SDカードはご利用できません。
 - ※ 書き込み保護機能を有効にして使用しないでください。
2. コンテンツ
本書では、パネルに表示再生する動画、静止画のファイルを「コンテンツ」と記載しております。
コンテンツはお客様にてご用意ください。
 - ・ 静止画ファイル：.jpeg .jpg
 - ・ 動画ファイル：.wmv
 - ※1ファイルで2GBを超えるものは使用しないでください。

※USBメモリーとSDカードは同時に挿してご利用いただくことはできません。
本書ではUSBメモリーを利用した使いかたをご紹介します。
SDカードをご利用のお客様はUSBメモリーをSDカードに置き換えてお読みください。

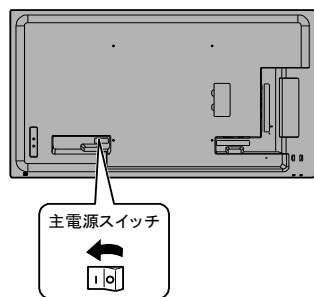
2. 動画/静止画ファイルの諸条件

<コンテンツ表示条件>

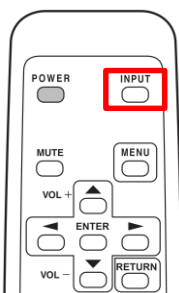
- 表示できるコンテンツのファイル
 - 静止画：JPEG（ベースラインフォーマット）
DCF2.0規格のJPEG
最大10,000×10,000画素です。
YC b Cr形式のみに対応
※Adobe社等のソフトウェアでは、RGB形式で保存すると実際にはYC b Cr形式で記録されます。
 - 動画：WMV(コーデック：WMV9)
- 表示制限
静止画/動画コンテンツの混在表示はできません。
- 推奨画像サイズ
横コンテンツ：1,920×1,080ドット
縦コンテンツ：1,080×1,920ドット（ファイル保存は横長の1,920×1,080で行ってください）
※縦コンテンツ作成上の注意点は「6. 困ったときは」をご確認ください。
- ファイルサイズ
一つのファイルが2 G byteまで
- ファイル名の規則
静止画：001.jpg,002.jpg,~030.jpg ※30個まで
動画：001.wmv,002.wmv~030.wmv ※30個まで
（ファイル名はすべて半角小文字で記載）
（数字の小さい順に再生されます。次の数字が無い場合は飛ばして再生されます）
- USBメモリーのルートフォルダーに「autoplay」の名前でフォルダーを作成してください。
表示したいコンテンツは「autoplay」フォルダーにコピーします。


3. 電源ONでコンテンツを表示してみよう


- (1) 主電源またはリモコンで電源を入れます。



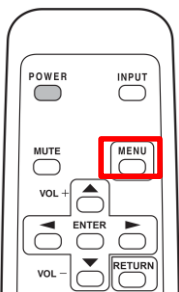
- (2) 入力モードをメディアプレーヤー以外の入力モードに切り換えます。






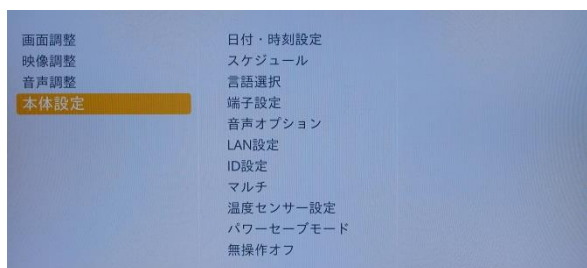
INPUT  を押し「メディアプレーヤー」以外の入力を選択します。

※無信号状態が続くと、信号待機状態になります。信号待機状態になった場合、INPUT  を押すことで、一時的に解除されます。メッセージ[NO SIGNAL]が出るまでの間に操作を行ってください。

- (3) [本体設定]を選択します。



MENU  を押し   で [本体設定]を選択します。



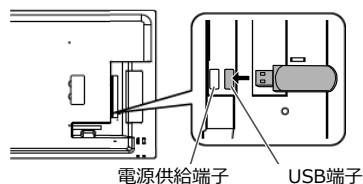
- (4) [温度センサー設定]を選択し、設置方向を選択します。

横長設置の場合： [横]を選択
縦長設置の場合： [縦]を選択

- (5) 手順(4)と同じように、本体設定メニューから [自動再生]を選択します。

静止画を再生する場合： [フォト]を選択
動画を再生する場合： [ムービー]を選択

- (6) USBメモリーを、ディスプレイのUSB端子に接続します。



※SDカードをご利用になる場合、SDカードスロットに接続してください。

- (7) コンテンツの再生が始まります。

- (8) 以上で、コンテンツを表示する準備が完了しました。以降は、主電源、または電源を切/入する操作だけで、コンテンツを表示することができます。

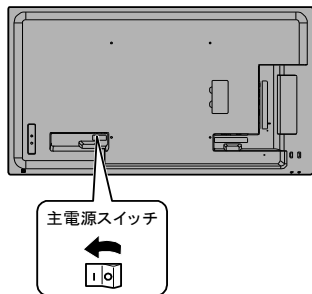
- 自動再生で動画または静止画が再生されないとき

自動再生では、静止画と動画を混在して表示させることができません。表示させたいコンテンツ（動画または静止画）は、本体設定メニューの [自動再生] で選択します。設定方法は、手順(5)を参照してください。

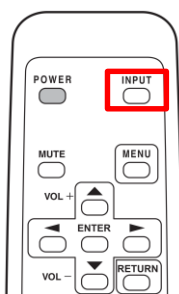
- USBメモリーまたはSDカードが認識されないとき
パスワード付きUSBメモリー/SDカードでないものをご使用ください。

4. スケジュール設定でディスプレイの電源ON/OFF時間を変えてみよう

(1) 主電源またはリモコンで電源を入れます。



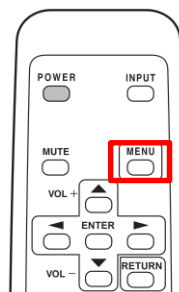
(2) 入力モードをメディアプレーヤー以外の入力モードに切り換えます。



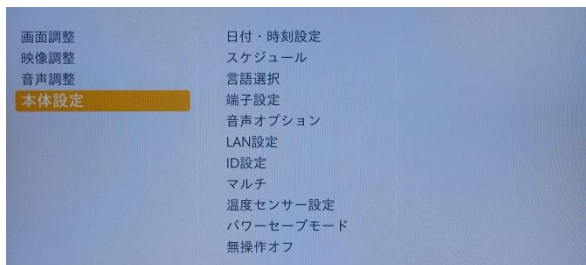
INPUT
○ を押し「メディアプレーヤー」
以外の入力を選択します。

※無信号状態が続くと、信号待機状態になります。信号待機状態になった場合、INPUT
○ を押すことで、一時的に解除されます。メッセージ[NO SIGNAL]が出るまでの間に操作を行ってください。

(3) [本体設定]を選択します。

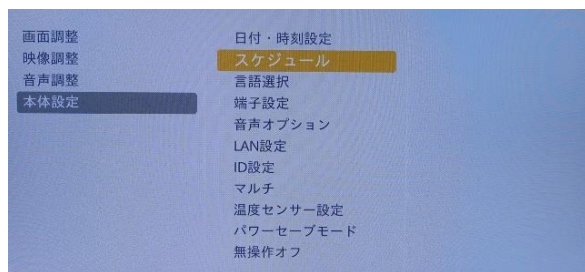


MENU
○ を押し ▲ ▼ で
[本体設定]を選択します。

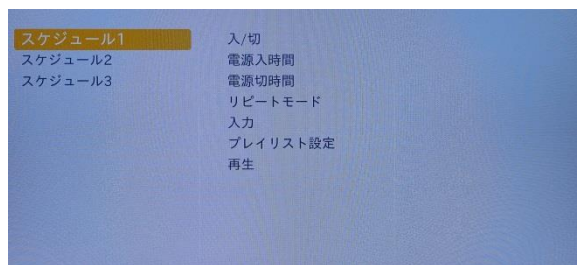


(4) 本体設定メニューから[無信号検出時自動入力切換]を選択し、「する」を選択します。

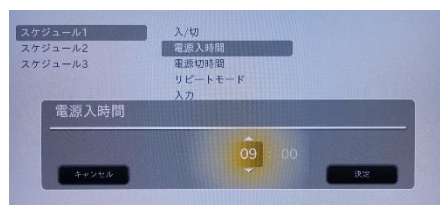
(5) 本体設定メニューから[スケジュール]を選択します。



(6) スケジュール1～3から、設定したいスケジュールを選択します。
ここでは[スケジュール1]を選択します。



- ①入/切：「入」に設定します。
- ②電源入時間：電源を入れる時刻を設定します。



9時から開始する場合は「09：00」と設定します。

- ③電源切時間：電源を切る時刻を設定します。
- ④リピートモード：どの曜日にスケジュールを実行するか設定します。
- ⑤入力：「メディアプレーヤー」以外を設定します。

(7) 3ページ「3.電源ONでコンテンツを表示してみよう」の手順 (3)～(6)を行います。

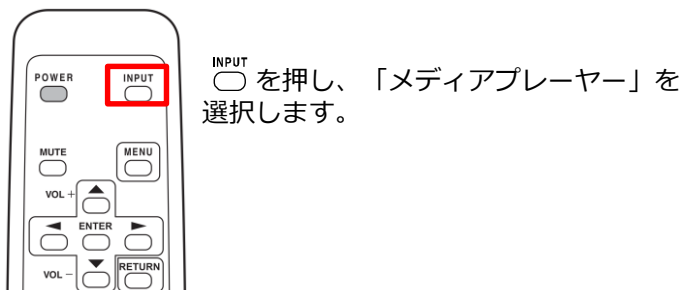
(8) 上記設定後、リモコンで電源を切ると、設定した「電源入時間」に電源が入りコンテンツ再生が始まり、「電源切時間」に電源が切れます。

※スケジュールが設定されている間は、電源ランプが赤とオレンジに点滅します。

5. 静止画コンテンツの表示時間を変えてみよう (Slideshow Time の変更)

「3.電源ONでコンテンツを表示してみよう」または「4.スケジュール設定でディスプレイの電源ON/OFF時間を変えてみよう」の手順を全て行ったあと、以下の手順に従ってSlideshow Timeの設定を行うと、静止画の表示時間を変更することができます。

(1) 入力モードをメディアプレーヤーに切り換えます。

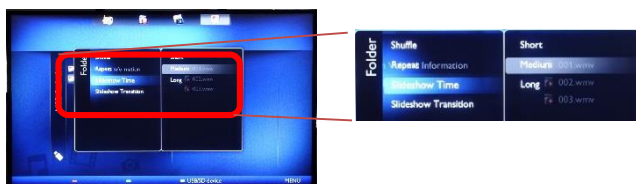


(2) 「USB flash drive」を選択します。



※SDカードをご利用の場合は、「SD card」を選択してください。

(3) を押し、以下のような画面が表示されます。「Slideshow Time」を選択します。



(4) 「Slideshow Time」で、「short」(約3秒)「medium」(約6秒)「long」(約9秒)のいずれかを選択します。

(5) 主電源またはリモコンで電源を切/入します。

(6) Slideshow Timeが反映されたコンテンツの再生が始まります。

- Slideshow Timeの設定内容は、静止画のみに反映されます。
- Slideshow Timeで設定した表示時間はUSBメモリーのautoplayフォルダに格納されているすべての静止画コンテンツに適用されます。コンテンツ毎に表示時間を変えることはできません。
- autoplayフォルダに格納されている静止画コンテンツが一つの場合「Slideshow Time」の設定内容に関わらず、一つの静止画を表示し続けます。

6. 困ったときは？

● スケジュールで再生できない

●スケジュールでコンテンツ再生する場合は、ディスプレイの本体設定メニューの[日付・時刻設定]で日付・時刻設定が正しく設定されているか確認してください。また、時刻が設定されていない場合、スケジュールが動作しません。

●設定されている日付・時刻は、リモコンのDISPLAYボタンを押し、状態表示画面で確認することができます。

【ご参考】

時刻は24時間制で設定してください。主電源が切れた状態が約1週間* 続くと、時計が止まります。（* 目安です。本機の状態により異なります。）

●スケジュール1～3の動作時間が重なっていたり、連続していたりすると正しく動作しないことがあります。

●スケジュールを設定したときは、主電源を切らないでください。

●スケジュールは必ず電源入/電源切両方の時間を設定してください。片方だけの設定はできません。スケジュールで電源を入れず、リモコンで電源を入れた場合は、電源切時間を設定していても電源OFFされません。

●楽々配信くんでコンテンツ配信を行う場合は、スケジュールの電源入時間と電源切時間と重複しない時間に行ってください。

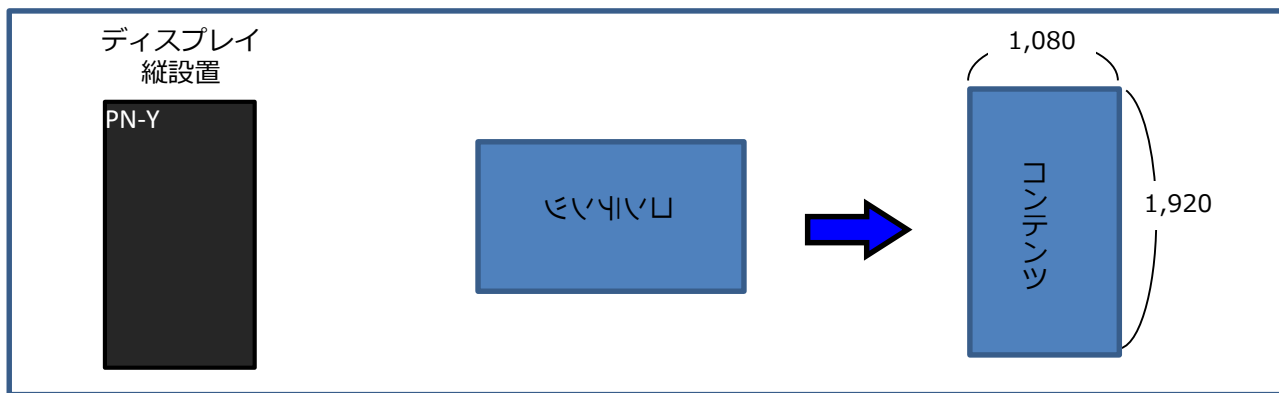
※楽々配信くんとは、インフォメーションディスプレイで「自動再生」するファイルを、ネットワーク経由で、インフォメーションディスプレイに接続したUSBメモリーまたはSDメモリーカードに書き込む（配信する）ことができるソフトウェアのことを指します。詳細は、楽々配信くんの取扱説明書を参照してください。

● 縦表示ができない

コンテンツは、横長の1,920 x 1,080で、横設置時のディスプレイの右側がコンテンツの上になるように作成してください。縦長に作ったコンテンツは右回転をして保存してください。コンテンツの回転はコンピューターの画像ソフト*を使用して、右90°回転して、保存してください。

* : Microsoft ペイント、Adobe PhotoShopなど

※Windowsのアプリケーションを使用する場合、Windows8以降のOSのWindows エクスプローラーでは画像のEXIF情報の影響で実画像が横長になっていても縦長の表示に見ることがあります。



● Slideshow Transitionが反映されない

Slideshow Transitionの内容は自動再生では反映されません。

詳細は、取扱説明書の「メディア内のファイルを再生する」を参照してください。

● その他注意事項

- 液晶の残像現象が起こる場合がありますので、同じ静止画を長時間表示し続けしないでください。
- 本体設定メニューの[無信号検出時自動入力切替]を「する」設定した状態で、USBメモリーまたはSDカードが接続されていない場合、入力切替が繰り返され、画面左上に入力端子の表示が出続けますが、本動作は故障ではなく製品仕様です。

7. 本ガイドについてのご注意

■ 商標について

- ・ Microsoft、Windows、Windows Media、PowerPointは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ AdobeおよびPhotoshopは、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 本ガイド掲載写真について

- ・ 掲載写真は出来るだけ実機の画面を撮影していますが、機種によっては外見やボタン、操作画面等に一部異なる点がございます。ご了承ください。